

「平成20年度 学生支援に関わる  
相談担当者の研修会」を開催

本機構東海支部では、「学生の悩み相談事業」として、標記研修会を平成二十二年一月二十八日（水）に日本福祉大学（名古屋キャンパス）「名古屋市中区千代田」にて開催し、七十三名が参加しました。

この研修会は、あいち学生支援コンソーシアムと連携・協力し、東海地区の大学等で学生支援の現状と課題について、学生相談の実務担当者が情報を交換し、交流を深めることで相談体制の充実を図るために実施しているものです。

はじめに、主催者である本機構東海支部 中村直規支部長及びあいち学生支援コンソーシアム 杉山寛行運営委員会委員長（名古屋大学理事・副総長）から、挨拶が行なわれました。

次に、桐山雅子学生相談専門委員会委員長（中部大学・学生相談室 教授）から企画趣旨説明があり、この研修会は、その時の旬のテーマを取り上げており、今回は、「学習支援」をテーマとしたこと、大学全入時代による学力低下が問題となっている昨今の現実的なテーマについて、色々な立場から情報を聞き、日頃の思いを多く語り合う機会として企画した旨の説明がありました。



情報交換会の様子

はじめに、一グループ七〜九名程度のグループに分かれ、司会・発表者を決め、自己紹介を行った後、①今回の話題提供者に聞いてみたいこと、②各大学における学生の現状、最近の傾向、困っていること、③具体的な支援として工夫していること、やろうと考えていることの三つの観点で、大学等における学習支援体制の現場の状況や問題点などの情報交換が活発に行われました。

研修会は、メインテーマを「授業についていけなかったり、単位が取れない学生の支援」として、「話題提供」と「情報交換会」の二部構成により進められました。

話題提供においては、教員の立場から、「学業不振者」を支援するために、森やよい氏（名古屋工業大学・学務課 主幹）からパワーポイントにより、名古屋工業大学における学習相談システム、ピアサポートシステムの成功例等について、紹介がありました。

次に、職員の立場から、「工業大学の学習相談からみた学生支援」をテーマに、森やよい氏（名古屋工業大学・学務課 主幹）からパワーポイントにより、名古屋工業大学における学習相談システム、ピアサポートシステムの成功例等について、紹介がありました。

引き続き、学生相談カウンセラーの立場から「学生相談カウンセラーから見た現状と課題」をテーマに、今井智子氏（愛知大学・学生相談室 カウンセラー）から単位が取れない学生への支援や、授業についていけない学生の事例等について、紹介がありました。

情報交換会は、若山隆専門委員会委員長（日本福祉大学・学生相談室 カウンセラー）、加藤容子専門委員会委員長（椋山女学園大学・人間関係学部 講師）の司会で、進行されました。

その後、全体としての情報共有を目的に、まとめあげた内容の発表や話題提供者との質疑応答がなされました。

最後に、鶴田和美専門委員会委員長（名古屋大学・学生相談総合センター 教授）から、リアルパワーポイントにより、話題提供及び情報交換会を踏まえたまとめが行われ、また、話題提供者への謝辞が述べられ研修会は終了しました。

東海支部では、今後も、あいち学生支援コンソーシアムと連携協力し、大学等の学生サービスの充実を支援し、大学等のニーズをよりの確に把握して、事業の充実に向けていくこととしています。